

安心をすべての人に届けたい

きたもと

well-being

通信

北本市議会議員

さくらい

桜井すぐる



<http://sakuraisuguru.jp/>

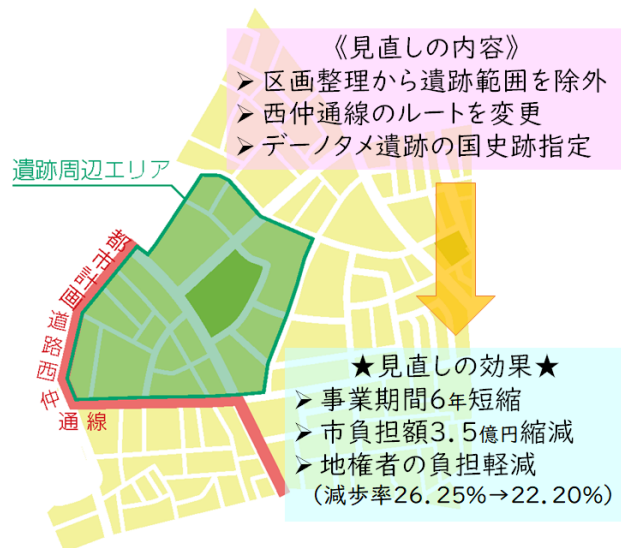


第34号

## 西仲通線のルート変更(遺跡迂回)を議会が容認 小・中学校給食費無償化、令和5年度末まで延長

### 西仲通線ルート変更反対していた議員も 遺跡迂回ルートを容認

すでに何度かお伝えしているとおり、久保特定土地区画整理事業の見直し(西仲通線ルート変更・デーノタメ遺跡国史跡化)について、令和3年9月に三宮市長が見直しを発表しました。



見直しの内容は、①久保特定土地区画整理事業から遺跡の範囲を除外する、②デーノタメ遺跡は国史跡指定を受け公園として保存する、③西仲通線は遺跡範囲を西側から迂回する、というものでしたが、このうち③について当時の啓和会、公明党、諏訪善一良議員が反対し、令和4年3月の定例会に市長が提案した関連予算が賛成多数(賛成10人、反対9人)で減額修正されました。

しかし、今年4月の市長選挙で、見直しの実現を公約に掲げた三宮市長が見直し反対派・諏訪善一良候補を大差で退けたことや、見直しに向けて市が地権者に理解を求め、県や県警とも協議を重ね、見直し案の実現性が高まったことなどを受け、今議会に提案された関連予算には議員全員が賛成し、原案どおり可決されました。

これにより、久保特定土地区画整理事業の見直し(縮小)、西仲通線のルート変更(西側から迂

回)、デーノタメ遺跡の国史跡化は、三宮市長の見直し案のとおり進む見通しとなりました。

### 市長の見直し案容認にあたって 議会から市長への要求(2つの決議)

市長の見直し案が認められたことに伴い、議会として2つの決議を全員賛成で可決しました。

1つめは、西仲通線の整備について①桶川市境から南大通線(県道312号線)までの早期整備、②整備に当たっての交通安全、防災・減災、周辺住民の騒音等生活環境への配慮、③沿道の市街化区域への編入等「計画的なまちづくり」の推進、④整備までの間の周辺道路における交通安全対策の徹底の4点を求める決議です。

2つめは、遺跡の保存活用に当たり用地取得・施設整備・維持管理に多額の税金が投入されることから、費用対効果を十分に勘案して計画を策定するとともに、市民の意見を聴いて計画に反映させ、機運の醸成を図ることを求める決議です。

2つの決議は、議会が市長の見直し案を認めるにあたっての条件とも言えるもので、確実に履行されなければなりません。

### まずはデーノタメ遺跡の国史跡指定を目指す

議会の議決を受け、まずは遺跡の国史跡化の手続きを進めることとなります。遺跡範囲の地権者の概ね7割の同意が得られれば今年度中にも文化庁に意見具申を行います。国史跡の指定は文化審議会(文部科学大臣の諮問機関)が決定します。早ければ来年秋にも指定される見通しです。

国史跡化の手続きと並行して、西仲通線の都市計画決定変更と久保区画整理事業の計画変更の準備を進めます。これらはデーノタメ遺跡が国史跡に指定されてから正式な手続きを始めます。西仲通線の都市計画決定変更は令和6年度中、久保特定土地区画整理事業の計画変更は令和7年度中となる見通しです。

## 市内小・中学校の給食費無償化 令和5年度末まで延長を決定

市内小・中学校の給食費については、令和5年度の6か月分についてすでに無償化が決定されていましたが、財源が確保できたことから令和5年6月定例会に補正予算が提案され、**今年度残りの5か月分についても無償化が決定されました。**

給食費（小学校月4,500円、中学校月5,200円）に**食材費高騰分として15%を上乗せして各**学校の給食会計に交付します。財源は国からの交付金（新型コロナウイルス対策地方創生臨時交付金）を活用します。

なお、令和6年度分の給食費無償化について、市長としては継続の意欲を示していますが、財源の目途が立っていないため、現状では未定です。

また、**市外の小・中学校（特別支援学校等を含む）に通う児童生徒**について、**現状では無償化の対象とされていません。**しかし、この無償化が物価高騰の長期化を受けた保護者負担軽減策であることを考えれば、市外の学校に通う子どもを対象外とする理由はありません。そこで、**これらの児童生徒も無償化の対象とすることを求める決議**を提案したところ、全員賛成により可決されました。

## 新たなごみ処理施設等整備構想が完成 令和14年度の供用開始を目指す

埼玉中部環境保全組合で進めている新ごみ処理施設の整備について、今後策定する『新たなごみ処理施設等整備基本計画』の参考資料となる『整備構想』が完成しました。まもなく組合のホームページで公開されます。なお、建設予定地については、鴻巣市郷地安養寺地内に決定されています（令和5年2月14日正副管理者会議で決定）。

整備構想には事業スケジュールが示されており、令和9年度から工事に着工し、令和13年度に完成。**令和14年度の供用開始を目指す**としています。また、焼却施設の規模は日量165トン、施設全体の参考施設整備費は257億1千万円（税込）

### 10. 施設整備スケジュール

施設更新が喫緊の課題であることから、新たなごみ処理施設の早期整備に向け、令和14年度の施設供用開始を目指す事業スケジュールとする。（表3）

表3 事業スケジュール（案）

項目	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11～13年度
施設整備基本計画							
生活環境影響調査							
用地買収							
整備運営事業発注手 続き（PFI/PPP方式）							
造成工事・建設工事							

という金額が示されましたが、あくまでも現時点での概算ということで、ご理解ください。

## 市議会改選後の新体制を決定！ 議長に滝瀬光一、副議長に今関正美

北本市議会は令和5年5月18日に第1回臨時会を開き、改選後の新体制を決定しました。

議員による選挙で、議長には滝瀬議員、副議長には今関議員が選ばれ、監査委員には島野議員が選出されました。なお、常任委員会の委員は次のとおりです（◎：委員長、○副委員長）。

総務 文教	◎諏訪、○青野、大嶋、湯沢、今関、島野、滝瀬（7人）
健康 福祉	◎金森、○永井、斉藤、 <u>桜井</u> 、中村、現王園（6人）
建設 経済	◎村田、○高橋、毛呂、小久保、工藤、保角、岡村（7人）
議会 運営	◎岡村、○ <u>桜井</u> 、金森、保角、諏訪、湯澤（6人）
予算 決算	◎現王園、○小久保、議長を除く全議員（19人）

また、一部事務組合の議員も選出され、私は前期から引き続き、**埼玉中部環境保全組合**の議員となりました。本市にとって新ごみ処理施設の整備は最重要課題です。適正な施設が整備されるよう、しっかりと調査・審査をしていまいます。

北本市議会議員 桜井すぐる **on-LINE**  
**Voters Cafe**  
ポーターズカフェ★市民と議員のしゃべり場



LINEオープンチャット「桜井すぐるポーターズカフェ★市民と議員のしゃべり場」を開設しました。日常の情報発信や意見交換の場として活用します。使い方はLINEグループと変わりませんが**普段の名前やアイコンを使わずに（変えて）参加することができます。**どうぞお気軽にご参加ください。

発行者 桜井すぐる後援会（代表：桜井 卓）  
住所 〒364-0034 北本市高尾1-166-6  
電話 090-9389-3572  
メール sakuraisuguru.kitamoto@gmail.com  
Twitter @sakuraikitamoto

早稲田大学教育学部卒業。元埼玉県職員。50歳。  
令和元年5月1日～北本市議会議員（現在2期目）。  
議会運営委員会副委員長、健康福祉常任委員会委員、  
埼玉中部環境保全組合議員。緑風会所属。